

最後に、貴重なる資料を提供された五十嵐氏に感謝する次第である。（北海道大学理学部植物学教室）

Saussurea chionophylla Takeda. Hab. Hokkaidô: Prov. Tokachi, in peridotite area in the cirque of Mt. Tottabetsu (Tsuneo Igarashi, Aug., 1953). Mt Tottabetsu is the second locality of the present ultrabasicsaxophyte which has been known only on Mt. Yûpari of the Province of Ishikari, Hokkaidô.

○小泉秀雄氏採集の地衣類標本について* (黒川 逍) Syô KUROKAWA: On lichen specimens collected by H. Koidzumi.

故 小泉秀雄氏がさかんに地衣類を採集されたことは、あまり世間に知られていない。筆者は昨年(1956年)10月頃から国立科学博物館所蔵の未整理地衣類標本を検討してきたが、その間に小泉氏が生前に採集された多量の地衣類標本に遭遇した。梱包をひもとくほどに、氏の精力的な採集ぶりがうかがい知られ、驚嘆の声を発すること一再ではなかつた。氏の採集品の一部は安田先生のもとに送られ、そのなかから *Umbilicaria Koidzumii* Yasuda ex Sato (植研. 11:314, 1935) (甲斐・駒ヶ岳 Jul. 27, 1921 採集) が記録されたのは周知のことである。そして從来は、小泉氏と地衣類を関連づけてくれるものはこの一種類の地衣だけと考えられてきた。しかし、今やこの考えは改められなければならない。氏は頑花植物採集のかたわら、主に葉状および樹枝状地衣ではあるが、多量の地衣類をも採集されたのである。科学博物館所蔵の氏の採集品のなかからは、前記の *Umbilicaria Koidzumii* の立派な標本も多量に発見されたし、又、既に朝比奈博士(植研 32: 132, 1957)が報告された *Dermatocarpon Moulinii* (Mont.) Zahibr. も発見された。氏の採集品のなかにはこのような珍種・稀種が含まれているだけではなく、その標本の大部分は量的にも充分多量に採集された立派なものであり、又現状では容易に行くことのできない南樺太や千島での採集品も相當にある。思うに、小泉秀雄氏は偉大なる地衣類採集家でもあつたと云つて過言ではあるまい。そして、氏の採集品が氏の逝去後科学博物館に移管され、殆んど散逸することなしに今日まで保管されてきたことは誠に幸であつた。

さて、小泉氏の採集品は今後屢々利用されると予想されるので、氏の地衣類採集の足跡を年代順に辿つて表を作製してみた。この表は主として梱包の包み紙に記されていたものを整理して作つたものであるが、科学博物館標本室には「小泉秀雄 植物鑑定目録」と題する全 17 冊の頑花・隠花植物の採集および採集品に関するノートがあつたので、これを参考して出来るだけ修正した。ただし 1919 年以前の採集品については、ノートにも断片的にしか記入されていないので、包紙の記録に頼るほかなかつた。また、ノートに記録されているが、採集品の見当らないものもあるので、これは表中の地名に * をつけて示した。不足や誤りもあるかと思うが、御教示を仰いで追々訂正してゆきたいと思つてゐる。

なお、小泉氏の採集品が、今日までほとんど散逸・損傷することなしに保管され、ここに日の目を見るようになつたのは、ひとえに国立科学博物館の小林義雄博士の御尽力によるものであつて、ここに厚く御礼を申し上げる次第である。

* 資源科学研究所業績 第 843.

1906 年	(明治 39 年)	8 月	7~9 日 木曾・駒ヶ岳; 20~23 日 富士山; 30 日 白馬岳
10 月	2 日 陸中・岩手山		
1908 年	(明治 41 年)	1921 年	(大正 10 年)
5 月	1 日 北海道・旭川	7 月	21 日 信濃・有明山; 25 日 信濃・釜無川; 26 日 仙丈ヶ岳, 仙水峰; 26~28 日 甲斐・駒ヶ岳; 28 日 甲斐・鋸山, 赤石山系・赤河原
某月	11 日 信濃・神居村		
1909 年	(明治 42 年)	8 月	12 日 札文島; 15 日 利尻島; 18 日 札文島
3 月	27 日 紀伊・十丈峠	9 月	4 日 信濃・東筑摩・茶臼山
8 月	某日 岩代・一切経山	10 月	1 日 信濃・南安曇・穂高村; 9 日 紀伊・高野山
1910 年	(明治 43 年)	1922 年	(大正 11 年)
5 月	某日 紀伊・西牟婁・新庄村	5 月	7 日 信濃・西筑摩・木祖村・鳥居峰; 13 日 東筑摩・戸谷峯山; 19 日 南安曇・須砂土; 21~22 日 東筑摩・入山辺村・扉峰
1911 年	(明治 44 年)	6 月	4 日 信濃・東筑摩・鉢伏山
7 月	7 日 大雪山; 30 日 紀伊・西牟婁・秋津川村	7 月	21 日 信濃・東筑摩・三才山峰, 鳥帽子岩, 入山辺村・戸谷峯; 24 日 仙丈ヶ岳; 26 日 甲斐・間ノ岳, 駒ヶ岳; 28 日 駒ヶ岳, 塙見岳; 29 日 本谷山; 30 日 赤石岳; 31 日 荒川岳*, 東岳*
8 月	10 日 武藏・三峰山	8 月	6 日 甲斐・小太郎山, 横岳峰; 7 日 北岳; 10 日 朝与岳; 11 日 仙水峰; 16 日 白馬岳; 20 日 越中・朝日岳; 28 日 八ヶ岳
1913 年	(大正 2 年)	〔註〕	「横岳峰」の日附に誤りがあるため「小太郎山」と「横岳峰」とが同日になつたものと思われる。
8 月	19 日 大雪山・松山温泉	9 月	1~2 日 信濃・常念岳; 2~3 日 蝶ヶ岳; 20 日 浅間温泉附近
1914 年	(大正 3 年)	10 月	21 日 東筑摩・武石峯
5 月	下旬 北海道・旭川, 大雪山	1923 年	(大正 12 年)
8 月	4 日 大雪山・旭岳	6 月	3 日 信濃・上伊那・中沢村・戸倉山
1915 年	(大正 4 年)	7 月	21~22 日 信濃・有明山; 23 日 東沢岳, 餓鬼岳; 27 日 仙丈ヶ岳; 28 日 甲斐・駒ヶ岳, 鋸山
7 月	28 日 芦別岳*	8 月	5~6 日 信濃・大天井岳, 牛首山, 東天井岳; 6 日 横通岳; 7 日 槍ヶ岳; 8 日 奥穂高岳; 22 日 越中・黒岳(水晶山); 28 日 八ヶ岳; 31 日 信濃・諏訪・中山
9 月	21 日 北海道・室蘭		
1916 年	(大正 5 年)		
7 月	15~19 日 石狩・夕張岳; 25~30 日 大雪山; 某日 東旭川・旭山		
10 月	26 日 紀伊・高野山		
1917 年	(大正 6 年)		
7 月	8 日 北海道・フラン岳; 12~15 日 上フラン岳; 13 日 フラン岳; 28~30 日 大雪山; 30 日 大雪山・熊ヶ原; 31 日~8 月 2 日 忠別岳		
8 月	1 日 石狩岳; 9~13 日 硫黄岳; 16~19 日 ニセイカウシュペ山; 某日 紀伊・西牟婁・新庄村		
1918 年	(大正 7 年)		
1 月	某日 紀伊・西牟婁・秋津川村		
6 月	9 日 石狩・上川・神居岳		
8 月	22 日 紀伊・稻成川岳*		
1919 年	(大正 8 年)		
8 月	1 日 北海道・オブタテシケ山		
1920 年	(大正 9 年)		
7 月	10~15 日 乗鞍岳; 27~29 日 奥常念岳, 燕岳; 29 日 槍ヶ岳		
〔註〕	乗鞍岳の採集品には「9 月中旬」と記入してあつたが, ノートにあら「7 月 10~15 日」の方が妥当のようだ。		

1924年	9月	23日 信濃・諏訪・守屋山	10月	1日 信濃・上伊那・七久保村;
	某月	某日 紀伊・高野山	3日	同村・念丈岳
1924年	(大正13年)		1928年	(昭和3年)
7月	15~17日 中房温泉一信濃坂間; 22日 赤石山系・東岳, 梅村岳; 24日 鬼岳; 25日 聖岳; 26日 上河内岳; 31日 宝劍山	7月	6~9日 赤石山系・聖山; 15日 上伊那・伊那里村・小瀬戸; 17日 八ヶ岳; 25日 石狩・夕張岳	
8月	1日 甲斐・駒ヶ岳; 8日 越中・劍岳	8月	12日 大雪山・雲ノ平; 14~21日 鳥帽子岳; 17日 平ヶ岳	
1925年	(大正14年)		9月	1日 白馬岳
4月	18日 信濃・西筑摩・神坂村	某月	某日 松本郊外	
5月	30日 木曾・濁川	1929年	(昭和4年)	
6月	14日 信濃・下伊那・新野峰	7月	26日 樺太・清川山; 29日 突阻山	
7月	14日 信濃・三ツ岳; 22日 木曾・御岳山・継子岳; 27~28日 木曾・駒ヶ岳	8月	1日 樺太・樺保山; 14日 国後島	
8月	2日 信濃・上伊那・戸台川上流; 5日 甲斐・北岳; 6日 白河内岳; 7日 赤森山; 8日 阿倍荒倉岳; 9日 裏塙見岳; 16日 北海道・大雪山・雲ノ平, 黒岳; 17日 桂月岳, 凌雲岳, 上川岳; 19日 鳥帽子岳; 20日 小泉岳・花ノ沢; 21日 大雪山・雲ノ平; 25日 小泉岳, 御蔵沢; 26日 石狩岳; 30日 小泉岳・南沢	1930年	(昭和5年)	
1926年	(大正15年)	7月	13日 美濃・恵那・恵那山; 19日 信濃・下高井・岩菅山	
4月	18~20日 信濃・西筑摩・神坂村	8月	3~6日 樺太・樺保山	
8月	18日 大雪山・裾合平, 黒岳, 北鎮岳; 19日 永山岳, 小塚山; 21日 忠別岳・平ヶ岳; 23日 塩谷温泉, ニセイカウシウベ山・地獄穴; 25日 ニセイカウシウベ山頂, ハッサ峰, 大屏風岩; 29日 同山・大箱; 30日 同山・タイコ岩の沢	9月	1日 穂高岳	
9月	25日 信濃・上伊那・伊那川の谷	1931年	(昭和6年)	
1927年	(昭和2年)	7月	18日 信濃・下伊那・樺古木山	
5月	23日 信濃・上伊那・三義村	8月	3日 陸中・早池峯山; 15~16日 羽前・鳥海山; 18日 羽前・月山; 22日 羽前・朝日岳	
7月	3日 上伊那・赤穂村; 13日 上高地; 27日 戸隠山; 28日 妙高山	1932年	(昭和7年)	
8月	3日 木曾・御岳山; 8日 甲斐・国師岳; 18日 大雪山・北鎮岳; 19日 忠別岳; 20日 化雲岳; 21日 石狩川水源地, 沼ノ原; 25日 三ベツツ山; 26日 裏ニペツツ山; 29日 ユニ石狩岳	7月	29日 千島・パラムシロ島・村上岳, 猫山; 31日 同島・赤岳	
		8月	3日 千島・パラムシロ島・大硫黄山; 9日 同島・阿天沼; 10日 同島・三戸山, 新加熊別; 11日 アライト島・扇浦; 11~13日 同島・アライト山; 23日 シュムシユ島・村上崎, 城ヶ崎; 30日 パラムシロ島・スリバチ湾, 新加熊別	
		1933年	(昭和8年)	
		7月	29日 戸隠山	
		9月	10日 信濃・前小河内岳	
		1934年	(昭和9年)	
		9月	16日 信濃・下伊那・千代村	
		1935年	(昭和10年)	
		6月	3日 上野・赤城山	
		7月	22日 伊勢・御在所山; 24日 豊後・南海部・尺間村・尺間山	
		8月	4日 若狭・青葉山; 27日 豊後・南海部・青山村・黒沢	
		9月	17日 南海部・下堅田村; 20日 同郡・同村	

(資源科学研究所)